

賀川豊彦賞を創設

神戸ゆかり「生協の父」の精神今に

「生協の父」と呼ばれる神戸ゆかりの社会運動家、賀川豊彦（1888～1960年）の業績を顕彰する公益財団法人・賀川事業団雲柱社（東京都）が29日、「賀川豊彦賞」の設立を発表した。格差や貧困の解消、社会福祉などの分野などで活動する団体、個人が対象。「貧困が社会問題化する今だからこそ賀川精神が求められる」（加山久夫理事長）としている。

（大盛周平）

■ 貧困解消、社会福祉の活動顕彰

労働組合運動、農民運動は有名で著書「死線運動、協同組合運動なを越えて」は100万部を越え、世田谷区にできた「松沢生活協同組合」が2014年に解散するまで、賀川が指導し、戦後、賀川が指導した活動に専念した活て1947年に東京・

都内の公益法人「雲柱社」

対象は「社会のひずみの中で国や地域社会の将来を展望し、先駆的なプロジェクトを立ち上げ、社会活動を展開している団体や個人」。3年以上の活動実績が条件で1年に1件、100万円を贈るとしている。

賀川豊彦賞
記念見



加山理事長は「賀川は成熟した参加民主主義を唱えていた。この賞でその志を広く呼び起こしたい」と話している。

応募期間は4月1日

～8月31日。同法人

03・3302・28

賀川豊彦賞の設立趣旨を説明する賀川事業団雲柱社の加山久夫理事長（右）と賀川豊彦記念松沢資料館の金井新一館長（東京都世田谷区